

2019年8月吉日

会員各位

ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会のお知らせ

シリーズ「これからの建築構造工学を考える」

第1回 荷重と極値分布

講師：東京大学名誉教授 神田順先生

共催 東京構造設計事務所協会（ASDO）

日本建築構造技術者協会（JSCA）

今年も暑い夏を迎えましたが、皆様におかれましてはますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より、ASDO・JSCA 共催の当技術研修会にご参加頂きありがとうございます。

当研修会では、10月より、新しく4回に渡ってシリーズ「これからの建築構造工学」を企画いたしました。講師は、限界状態設計関連の著書等により、皆様もよくご存知の東京大学名誉教授神田順先生にお引き受けいただき、興味深いお話をさせて頂くようお願いしました。

シリーズ第1回目研修会を次頁の通りご案内いたします。講義内容につきましては、「荷重と極値分布」についてお話いただきますが、神田先生より以下の通り皆様へのメッセージを頂いております。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

神田先生よりのメッセージ

初回の講義では、構造物の安全性に大きくかわる荷重の不確定性について、モデル化をどのように考えたらよいか、主に極値分布とその応用について、話題提供します。

- (1) なぜ確率論か？ 荷重のように将来生じるまれな事象については、不確定性を有するので、どの程度安全かを考える上で荷重の大きさを設定するにあたっては、確率論に基づく解釈が欠かせない。
- (2) グンベル分布で考える グンベル分布は、上限も下限もない場合の確率的な最大値という条件だけから漸近分布として数学的に導かれる。特有の性質をもつ扱いやすい確率分布である。
- (3) カンダ分布の紹介 上限も下限もあるという工学的に考えた条件から経験的極値分布として提案したもので、地震動や津波波高への適合性を説明する。
- (4) 荷重強さと極値分布 積雪深、強風、地震動強さなどを年最大値で扱ったときにそのばらつきの特性を、極値分布の性質から考える。

記

テーマ：シリーズ「これからの建築構造工学を考える」

第一回「荷重と極値分布」

日時：2019年10月8日（火）

受付：17時30分より

場所：日大理工学部駿河台校舎1号館 2階 121会議室

プログラム：司会 市村隆幸（株親交設計）

18:00～18:05 趣旨説明 金田勝徳（株構造計画プラス・ワン）

18:05～19:35 講演 東京大学名誉教授 神田順先生

19:35～20:00 質疑応答

資料代：ASDO 正会員・準会員・賛助会員・会員事務所所員、JSCA 会員 ￥1,500
非会員 ￥2,000 学生 ￥500

参加希望の方は本申込用紙にご記入の上、E-MAIL または FAX にて下記まで申し込み下さい。

申込締切日 2019年10月1日（火）

問合せ先（株）親交設計 TEL 03-5215-3033

申込書送付先 e-mail:kensyu1@asdo.jp FAX：03-5215-3034

東京構造設計事務所協会 御中

2019年 月 日

□10月8日（火）開催の ASDO・JSCA 東京共催 技術研修会 に参加を申し込みます。

氏名：

所属：

連絡先 tel：

Mail：

ASDO 会員種別 (正 準 賛助) 会員 非会員 学生

日本大学理工学部駿河台校舎1号館 案内図

